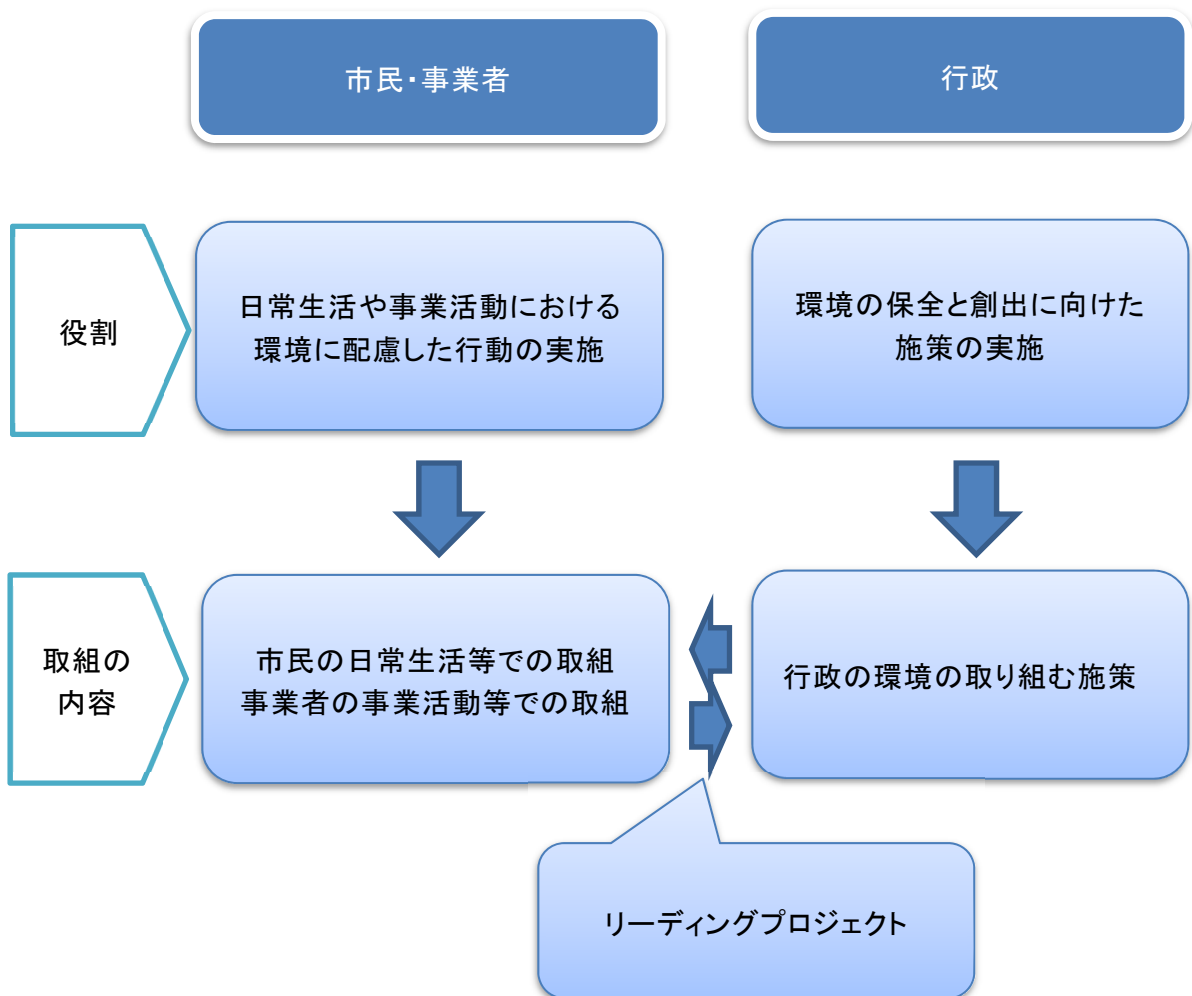


## 第4部

## 環境の将来像を目指して

ここでは第3部で提示した目指すべき環境の将来像の実現のために必要な取組として、行政が環境の保全と創出に向けて取り組む施策、市民が自ら日常生活等で取り組むべき事項、事業者が事業活動等において取り組むべき事項を示しました。また、市民、事業者、行政が協力して実現するリーディングプロジェクトを第5部に示しました。



# 1 行政の取り組む施策



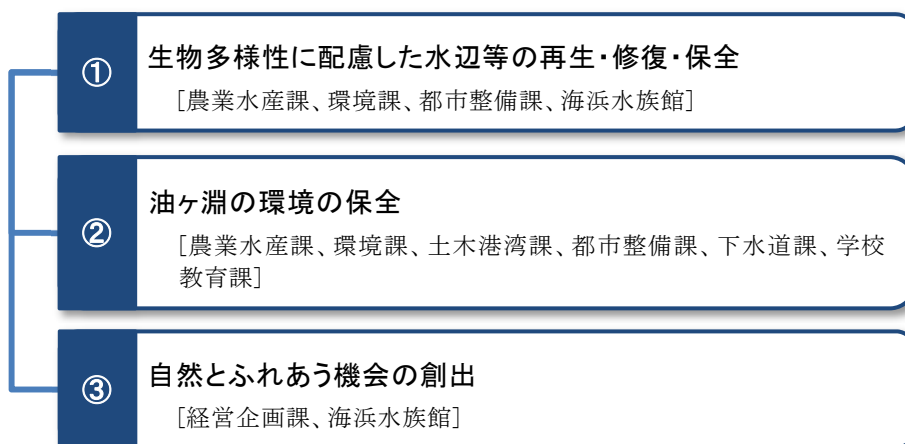
## 基本目標 1 自然環境の保全(碧南市生物多様性地域戦略)

自然と市民が豊かなふれあいのある共生のまちづくりを目指します。

基本目標1は、生物多様性基本法第13条の規定に基づく、生物多様性地域戦略に位置付けます。本市の生物多様性の状況に合わせた保全と持続可能な利用に向けた取組を示します。

### 基本施策1－(1)水辺環境の保全と創造

「生物多様性国家戦略」(環境省)を基に、多様な動植物の保全と創造の取組が全国で進められています。希少動植物だけでなくチョウやトンボ等の身近な場所にいる生き物や、人間が自然の恵みとして利用している農作物なども対象とされます。多様な生き物が生息成育できる場やそれらが地域内でつながるネットワークづくりや、自然の恵みの持続可能な利用に関する取組が行われています。自然との共生を目指した本市のまちづくりにおいても、特に水辺における多様な動植物の生息環境の保全と創造に向けた取組を進めます。

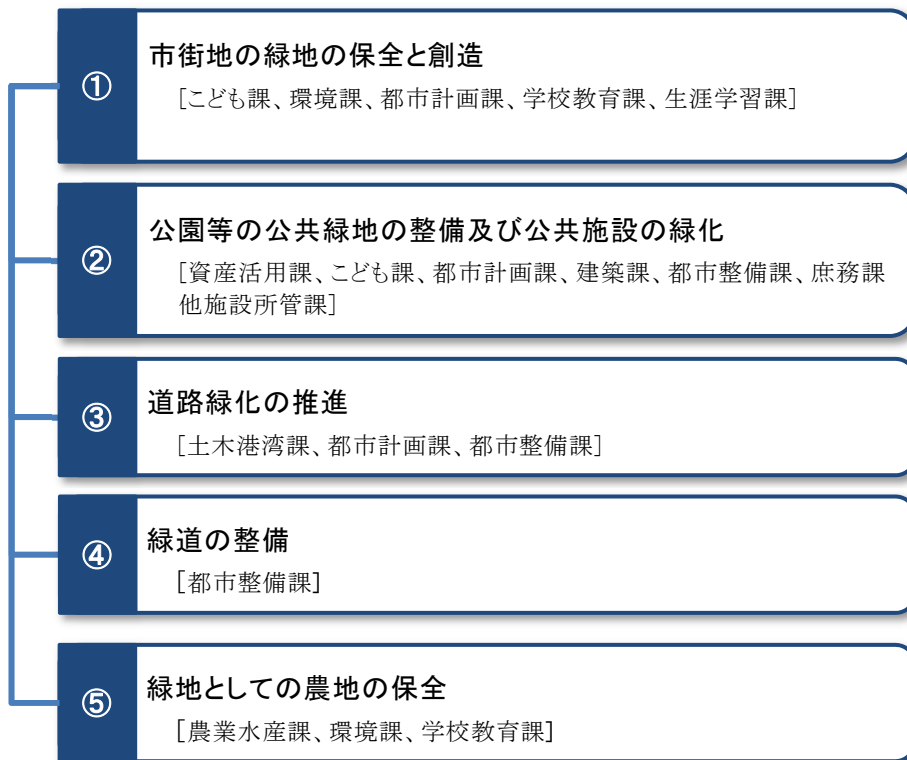


#### ■ 主な事業・関連計画

- ・矢作川水源基金事業(経営企画課)
- ・内水面漁場清掃委託事業(農業水産課)
- ・県営油ヶ淵水辺公園の第1期整備区域の整備(緑の基本計画)(都市整備課)
- ・高浜川水系 油ヶ淵 水質浄化促進行動計画(下水道課)

## 基本施策1－(2) 緑地の保全と創造

都市において生態系を再生することは、私たちの暮らしに欠かすことのできない生態系サービス(生物多様性の恵み)を保持していく上で重要です。生態系再生の手段のひとつが、生態系に配慮した都市における緑地の保全と創造です。緑地の保全と創造を行うことにより、生態系のネットワークができ、より面的な広がりをもった生態系の保持が可能となります。生態系サービスの享受がこれからも維持できるよう、緑地の保全と創造の取組を進めます。



### ■ 主な事業・関連計画

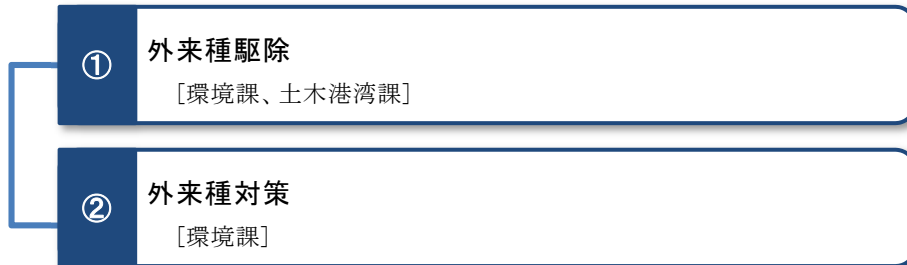
- ・地産地消推進(農業水産課)
- ・公園整備の推進(緑の基本計画)(都市整備課)
- ・松並木管理(都市整備課)
- ・公共施設の緑化推進(関係各課)



松並木

## 基本施策1-(3) 外来種駆除

市内に広く分布し、生態系に悪影響を及ぼしている外来種の生息状況を把握するとともに、駆除を進めます。



### ■ 主な事業・関連計画

- ・オオキンケイギク啓発駆除活動(環境課)
- ・飼育マナーの周知(環境課)
- ・特定外来生物を始めとした獣類を対象とする捕獲箱の貸し出し(環境課)
- ・セアカゴケグモに対する注意喚起啓発(環境課)
- ・スパルティナ・アルテルニフロラのモニタリング(環境課・土木港湾課)





**基本目標 2 まちづくり**

市民が環境に配慮し、健康で安心な活気ある生活を送れるまちづくりを目指します。

**基本施策2-(1) 公害防止対策の充実**

これまでの環境行政の成果から大きな公害問題はなく、環境は概ね良好な状態にあります。今後もその状態を維持するため、環境監視体制の充実を図るとともに、健康へのリスク低減や公害苦情処理体制の充実を図ります。また、公害防止協定や公害防止指導基準の適正な運用を図ります。



■ 主な事業・関連計画

- ・ 特定規模小売店地域貢献事業(商工課)
- ・ 公害防止に関する協定締結と遵守(商工課・環境課)
- ・ 市内の環境監視(環境課)
- ・ 広域的連携(油ヶ淵水質浄化)事業(環境課)
- ・ 規制基準の徹底、水路、側溝の管理(環境課・土木港湾課・下水道課)
- ・ 公共下水道整備事業(下水道課)

## 基本施策2-(2) 景観整備の推進

史跡、歴史的建造物及び古い町並み等“へきなんらしさ”をもった豊かな地域資源を培っていくため、これらの美しい郷土景観を保全し、創造していく取組を進めます。

### ① 景観の保全と創造

[環境課、都市計画課、都市整備課、文化財課]

### ② ごみのポイ捨て対策

[関係各課]

#### ■ 主な事業・関連計画

- ・イベント等を通じた古い町並み等の周知(商工課)
- ・清掃活動の促進(関係各課)
- ・景観施策の推進(都市計画マスタープラン、景観計画)(都市計画課)



清掃活動



大浜てらまちウォーキングの様子



**基本目標 3 循環**

資源循環を基調とする環境負荷の小さな循環型の社会づくりを目指します。

**基本施策3-（1）資源循環（3R）を基調とする環境負荷の小さな循環型の社会づくり**

ごみ問題やリサイクルの取組等、地球への環境負荷の軽減を目指した循環型社会づくりは、21世紀が抱えている大きな課題です。これは行政だけではなく、市民や事業者も手を携えて取り組まなければ解決できないものです。本市における循環型社会づくりの取組は、時代のニーズにあった新しいごみ行政の展開への試みをはじめ、市民のライフスタイルや事業者のものづくりへの意識改革等の視点を持ちながら推進していきます。



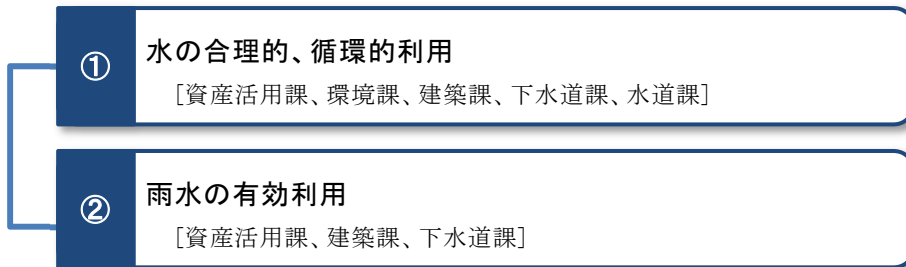
■ 主な事業・関連計画

- ・グリーン購入の推進(碧のエコプラン)  
(資産活用課等)
- ・農業用使用済プラスチック等の適正処理  
(農業水産課)
- ・「一般廃棄物処理基本計画」の推進(環境課)
- ・生ごみたい肥化の推進(環境課)



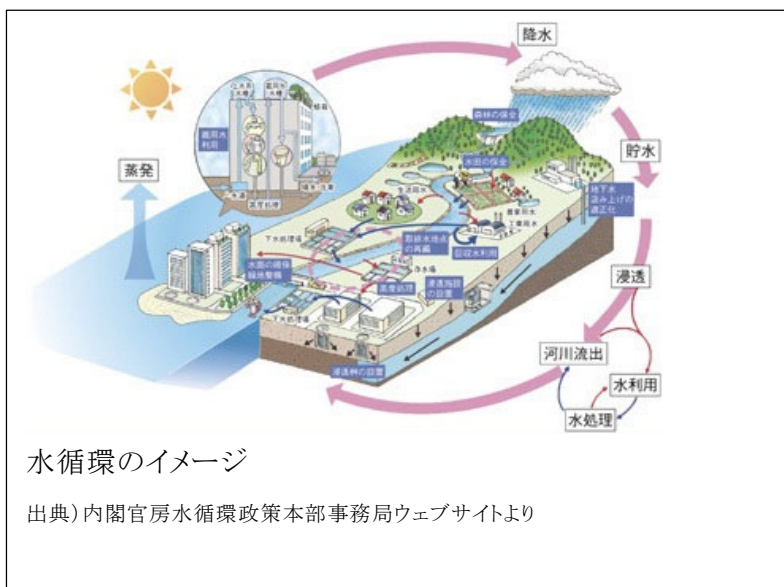
## 基本施策3-(2) 水循環の確保

水使用量の節減対策を推進するとともに、雨水利用を促進する等、水資源の有効利用に努めます。



### ■ 主な事業・関連計画

- ・イベントにおける雨水利用の周知(環境課)
- ・公共施設における中水利用の推進(建築課)
- ・雨水貯留槽設置補助(下水道課)







**基本目標 4 地球温暖化対策(碧南市地球温暖化対策実行計画(区域施策編))**

エネルギーの合理的かつ循環的利用により、地球温暖化の防止及び温暖化した気候に適応するまちを目指します。

基本目標4は、地球温暖化対策の推進に関する法律の第19条の2に基づく、「地球温暖化対策」に位置付けます。

本市では、碧南市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)における温室効果ガス排出量の目標値を、パリ協定の目標達成に貢献するために、国の地球温暖化対策計画の部門別削減率を当てはめた、基準年から15.7パーセント削減とします。

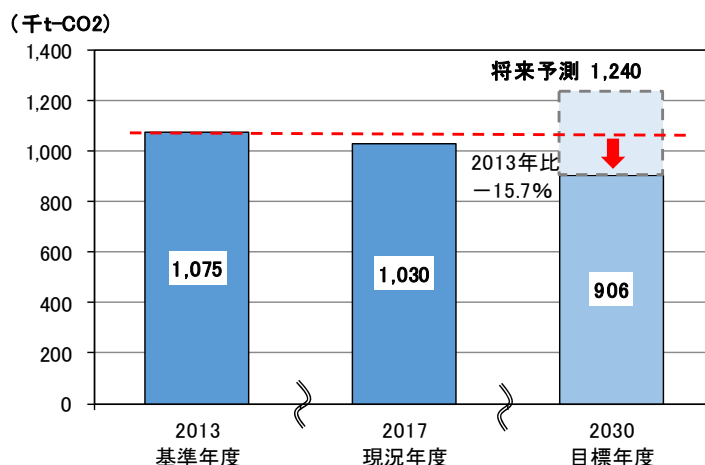


図 温室効果ガス排出量と削減目標

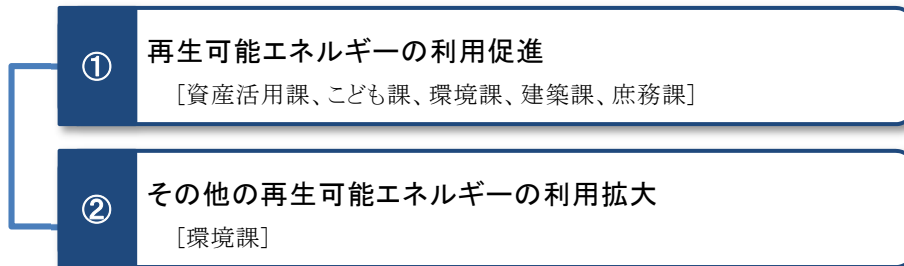
**< 温室効果ガス排出量の削減目標 >**

令和12年度(2030年度)に平成25年度(2013年度)比で15.7%削減

本市の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための取組を示します。

## 基本施策4－(1) 再生可能エネルギーの導入促進

エネルギー問題への取組も環境負荷の軽減に向けた大きなテーマです。本市においては、恵まれた太陽エネルギーに加えて、地域の自然資源等を活用した新しいエネルギーシステム等を注視し、再生可能エネルギー利用を拡大していきます。

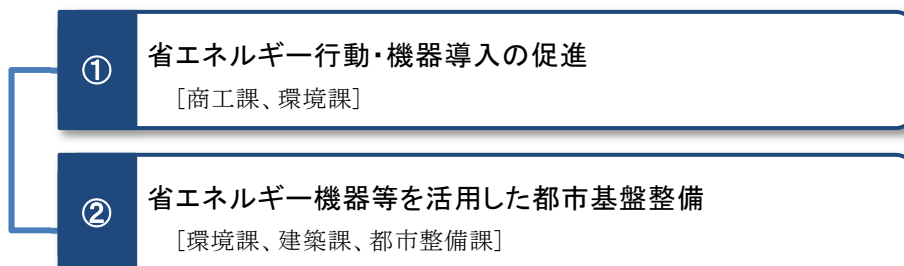


### ■ 主な事業・関連計画

- ・公共施設太陽光発電屋根貸し事業(資産活用課)
- ・スマートハウス設備設置費補助(環境課)
- ・クリーンセンター衣浦の余熱利用(環境課)

## 基本施策4－(2) 省エネルギーの促進

温室効果ガス排出量を削減するためには、エネルギーの無駄を省く省エネルギーも重要です。生活・行動を見直し、無駄を省くことで省エネルギーになります。また、近年ではエネルギー効率の良い省エネルギー機器等が普及しています。これらの機器を上手に使い、生活のあらゆる場面で省エネルギーを進めます。



### ■ 主な事業・関連計画

- ・新築住宅建設等促進補助による三州瓦利用促進加算(商工課)
- ・省エネルギー行動の普及促進(環境課)
- ・市役所駐車場内に設置した電気自動車充電スタンドの利用促進(環境課)

### 基本施策4－(3) 環境負荷の少ないまちづくり

環境負荷の低減に向けて、まちそのものを環境負荷の少ないまちにすることも必要です。緑地を増やして夏の暑さを軽減したり、低炭素型の交通手段の利用へと移行させて移動に要するエネルギーを減らすなどの対策が考えられます。公共交通機関の利用や、次世代自動車(ハイブリッドや電気自動車、燃料電池自動車など)を利用しやすい環境を整備し、環境負荷の少ないまちづくりを進めます。

#### ① 緑地の保全と創造【再掲】

(基本施策1－(2) 緑地の保全と創造 参照)

#### ②

#### 低炭素型の交通手段の普及促進

[資産活用課、商工課、環境課、土木港湾課、都市計画課、都市整備課]

#### ■主な事業・関連計画

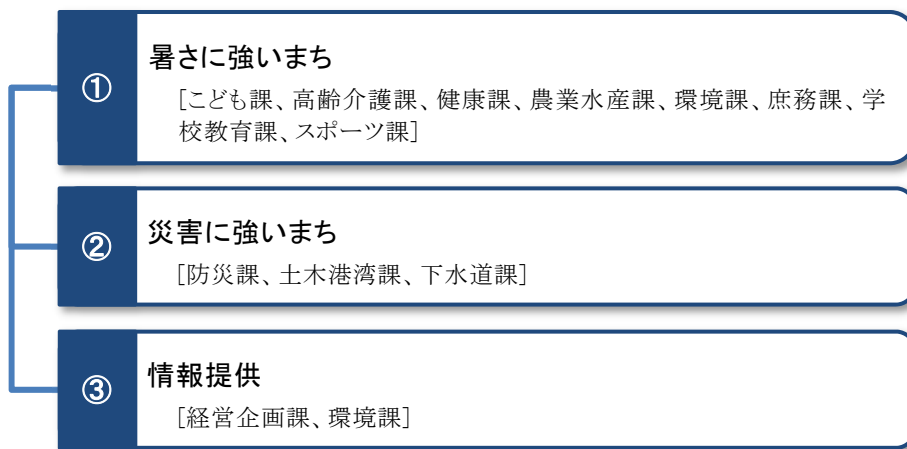
- ・市内巡回バス「くるくるバス」運営、  
ふれんどバス、鉄道利用の促進  
(商工課)
- ・電気自動車充電スタンド管理  
(環境課)



市役所充電スタンド

## 基本施策4－(4) 温暖化に適応するまちづくり

猛暑や豪雨、大型の台風など、地球温暖化による影響が既に現れています。本市においても、熱中症の発生に加えて、海面漁業における魚種の変化や、病害虫の発生による作物の生育不良や品質低下などがすでに発生しています。これまでに排出した温室効果ガスの影響で、今後しばらくは気候が温暖化すると予測されています。そのため、これ以上の温暖化を抑止するために温室効果ガス排出量の削減に努める「緩和策」とともに、温暖化した気候に適応していく「適応策」も求められています。



### ■ 主な事業・関連計画

- ・広報へきなんによる気候変動対策の啓発(経営企画課、環境課)
- ・浸水対策等の推進(防災課、土木港湾課等)
- ・温暖化による病害虫等防除対策の推進(農業水産課)
- ・熱中症予防対策の周知(健康課等)



## 基本目標 5

## ひとづくり

地球的視野で環境を考え、率先して環境保全行動を起こすひとづくりを目指します。

## 基本施策5-（1） 環境教育・学習と情報提供の推進

地球規模の環境から身近な生活環境まで現代社会が取り組まなくてはならない環境保全活動の分野は幅広く存在しています。特に次世代を担う子供たちに向けた環境教育や体験学習は、官及び民において様々な取組が行われています。近年、学校教育の現場で総合的学習の一環として環境教育がクローズアップされています。本市においても、地域における環境学習、環境保全活動及び環境に留意した消費者活動の中心的役割を担う人材の育成を目指して、環境教育及び体験学習等を推進します。

## ① 環境教育・学習の推進

[環境課、学校教育課、海浜水族館]

## ② 環境情報の交流の促進

[経営企画課、環境課、学校教育課、海浜水族館]

## ■ 主な事業・関連計画

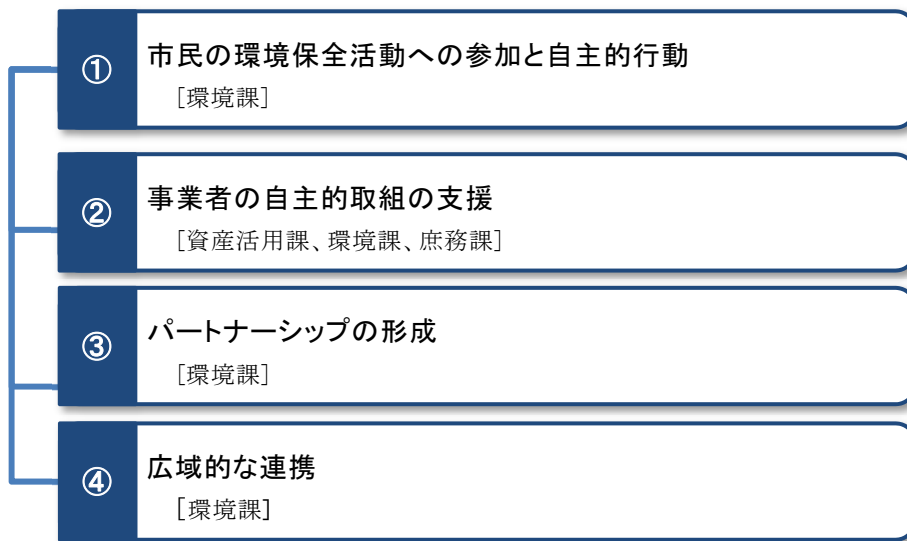
- ・自然観察会(海浜水族館)
- ・環境保全ポスター募集(環境課)



自然観察会

## 基本施策5－(2) 協働による環境保全活動の推進

自分たちの住むまちに愛着を持ち暮らすことは、人が人らしく生きいきと生活を営むことです。そのためには、自分たちが住んでいる地域の人と人とのつながりが元気であることが必要です。市民交流やコミュニティ組織の振興等は、ライフスタイルが多様化する現代において、新しい市民文化や地域への愛着を生み出すきっかけづくりにも繋がる可能性を持っています。多様なコミュニティの協働によって、率先して環境保全行動を起こすひとづくりを目指し、人と人との交流の活性化を図ります。



### ■ 主な事業・関連計画

- ・「碧のエコプラン～碧南市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)～」の推進(資産活用課、環境課、庶務課)
- ・へきなん市民環境会議の支援(環境課)
- ・西三河南部生態系ネットワーク協議会における協働体制の推進(環境課)



会議の様子

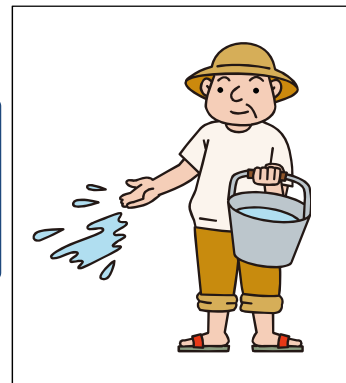
## 2 市民の日常生活等における取組

### 基本目標1 自然環境の保全(碧南市生物多様性地域戦略)

#### ■水辺環境の保全と創造のために

##### 自宅では

- ・庭がある場合、雨水を貯めて散水などに利用します。
- ・米のとぎ汁や風呂の残り湯を、散水などに利用します。
- ・ごみのポイ捨てや不法投棄はしません。



##### 買い物をするときは

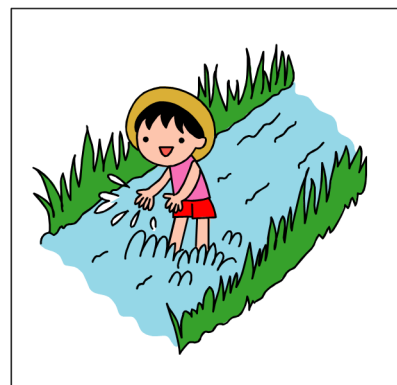
- ・地元産の農産品、水産品を選びます。
- ・生物多様性の保全や生物資源の持続可能な利用に配慮していることを示す環境マーク<sup>注1</sup>のついた商品の購入を心がけます。

##### みんなと協力して

- ・特定外来生物の駆除活動や、発見のための知識の取得や周知を行います。
- ・油ヶ淵浄化デー、クリンピーなどの清掃活動に参加し、きれいな水辺を保ちます。
- ・油ヶ淵の水質をはじめとした現状を多くの方に知ってもらい、油ヶ淵の環境保全に関心を持つ方を増やしていきます。

例えば・・・油ヶ淵の水質は、昔に比べ改善してきていますが、まだ改善点が多い現状があります。

- ・へきなん市民環境会議を始め各種団体が毎月実施している水質調査に参加します。
- ・油ヶ淵を訪れて、現状を確認します(マップをつくってみましょう)。
- ・矢作川を始めとする河川や油ヶ淵、衣浦湾等の身近な自然に親しみます。
- ・自然観察会や体験学習などに参加します。
- ・市民農園や体験農園等を利用して、自然の恵みに親しみます。



<sup>注1</sup> 環境マーク:環境に配慮した製品やサービスにつける表示の総称

## ■緑地の保全と創造のために

### 自宅では

- ・自宅に植物を植え、自宅から生態系に配慮した環境を作っていきます。
- ・自宅で花や野菜を栽培して、自然の恵みに親しみます。
- ・敷地の緑化推進により、市街地における緑地の保全と創造を促進します。
- ・地元産の農産品、水産品を選びます。
- ・憩いの場として身近な緑地を利用し、自然に親しみます。



### みんなと協力して

- ・地区ミーティングや様々な媒体を利用して、より良い緑地づくりへの意見を発信します。
- ・低木の剪定や草刈りなど、アダプトプログラム<sup>注1</sup>と一緒に活動していく仲間を増やしていきます。
- ・公園や道路等のアダプトプログラムに参加し、公共緑地の整備に協力します。

## ■外来種を増やさないために

### 自宅では

- ・生き物を飼うときは、最後まで責任を持って世話をします。
- ・培養土をむやみに捨てません。



### みんなと協力して

- ・オオキンケイギクなどの外来種の駆除活動に参加します。
- ・外来種の問題を身近な人に伝えます。

<sup>注1</sup> アダプトプログラム: 市民、事業者、行政が協働で進める新しい「まち美化プログラム」



## 基本目標2 まちづくり

### ■公害を防止するために

#### 自宅では

- ・大気環境や水環境に関心をもって、異常を発見した場合は関係機関に連絡します。
- ・光化学スモッグ予報・注意報やPM2.5<sup>注1</sup>に関する注意喚起情報があれば、マスク着用等の対応をします。
- ・農業、漁業のごみについてもクリーンセンター衣浦に持ち込む等、近隣住民の迷惑にならないよう野焼き以外の方法で処分することに努めます。
- ・関係機関が公開する市内の水質の状況を把握することに努めます。
- ・供用開始した下水道への早期接続や高度処理型合併浄化槽<sup>注2</sup>への転換に努めます。
- ・油や食べ残しを排水口に流さず、洗剤は環境負荷の少ない製品を選びます。
- ・井戸がある場合も、庭の散水には風呂水や雨水、米のとぎ汁等を利用し、過剰なくみ上げを控えます。
- ・家の新築、建て替え時には近所の状況を確認して、近隣に迷惑をかけない、または影響を受けにくい配置・設計を検討します。
- ・自動車はアイドリングストップなどのエコドライブを心がけ、買い替え時には次世代自動車や低排出ガス車など環境に配慮したものを選んでいきます。



#### みんなと協力して

- ・毎月の油ヶ淵の水質調査に参加します。

注1 PM2.5:粒子の非常に小さい大気汚染物質で健康に影響を及ぼす物質

注2 高度処理型合併浄化槽:窒素・磷などの除去が高度に処理できるため、湖沼や閉鎖性海域でより一層の水質汚濁防止、富栄養化防止の目的で用いられる浄化槽

## ■美しい景観を守る・つくるために

### 自宅では

- ・自宅敷地周辺も落ち葉やごみの掃除などをこまめに行い、ごみが落ちていたら拾います。
- ・ペットを飼う際のマナーを守っていきます。
- ・景観を損なう張り紙等の屋外広告物の所在等の情報を市に提供していきます。
- ・碧南の景色フォトコンテスト等、碧南の景観を残していく事業に協力するとともに、碧南の良い景観を再発見します。
- ・管理されていない空き家があれば、市へ情報を提供します。
- ・新築、増築、改築の際には周辺の景色との調和を図り、デザインや配色を意識するよう努めます。
- ・庭木の剪定や落ち葉の掃除などをこまめに行います。



### みんなと協力して

- ・不法投棄の現場を見つけたら情報を市に提供します。
- ・クリーンピーなどの地域の清掃活動に参加します。
- ・自宅周辺の街路樹や公園の清掃活動に参加します。
- ・市内各地に点在する由緒ある樹木、地域を象徴する古木、大木及び樹林等の保存活動に協力します。
- ・次代を担う子ども達に歴史を物語る建築物等の由来について語り継ぎます。

### 基本目標3 循環

#### ■資源循環(3R)を基調とする環境負荷の小さな循環型の社会づくりのために

##### 欲しいものは

- ・詰替えや付替え、繰り返し利用可能など、できる範囲で、使用後にごみになりにくい商品を選びます。
- ・買い物袋を持ち歩き、レジ袋等のプラスチック削減に努めます。
- ・再利用可能・再生利用可能な品や再生品を利用して、リサイクルの輪をつなげます。
- ・プラスチックスマートキャンペーン<sup>注1</sup>に参加します。
- ・使わなくなったものを人に譲ったり、人から譲ってもらったりします。

例えば・・・リサイクルプラザで情報交換できます。

- ・不用品交換会やフリーマーケットを利用します。

例えば・・・市民ふれあいフェスティバル、大浜でらまちウォーキングのフリーマーケットなどがあります。

- ・家庭での食事は自身の普段の食事量、趣向を考慮し、外食では食べきれなかったときに持ち帰りが可能か、そうでなければ食べ残しの少ないような注文を心掛けます。



##### 不要なものは

- ・生ごみは自宅でたい肥化するか、乾燥させてから市の収集に出します。

例えば・・・生ごみ処理機購入補助の活用、ぼかし無料配布の利用

- ・ごみは分別して資源回収に協力します。

例えば・・・碧南市の分別収集(地区の分別回収)への理解を深めます。

- ・長寿命仕様の設備(照明等)を設置します。
- ・廃棄物分別を徹底します。

##### 捨てられない環境づくり

- ・自宅の庭木や道路沿いの雑草を伸ばしすぎない等の管理に努め、不法投棄されない環境づくりに努めます。

<sup>注1</sup> プラスチックスマートキャンペーン: 世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、環境省が個人・自治体・NGO・企業・研究機関など幅広い主体の取組を発信し、連携協働を後押しするもの。

## ■水の循環を守るために

### 自宅では

- ・節水コマ、節水シャワーヘッドなどを利用して水使用量を節減します。
- ・庭がある場合、雨水を貯めて散水などに利用します。
- ・風呂の残り湯を洗濯や散水に利用します。
- ・市の補助制度を利用して、雨水貯留施設や雨水浸透ますを設置します。



## 基本目標4 地球温暖化対策(碧南市地球温暖化対策実行計画(区域施策編))

### ■再生可能エネルギーの導入を進めるために

#### 自宅では

- ・市の補助制度<sup>注1</sup>を利用して、太陽光発電、蓄電池などの再生可能エネルギー利用設備を導入します。

### ■省エネルギーを進めるために

#### 自宅では

- ・無駄な点けっ放し等をなくし、節電・節水に心がけます。
- ・電化製品を買うときには、省エネ性能にも気をつけます。

例えば・・・省エネラベルで省エネ基準達成率を確認します。



※このラベルは、エアコン、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、液晶テレビ、電気便座、蛍光灯器具(家庭用)に表示されます。

### ■環境負荷の少ないまちをつくるために

#### 自宅では

- ・焼却余熱を使用している施設(サンビレッジ衣浦)を利用していきます。
- ・エネルギー効率の良い自動車(電気自動車やプラグインハイブリッド)を導入します。

<sup>注1</sup> 市の補助制度:太陽光発電を始めとするスマートハウス設備設置費補助などがあります。

## ■温暖化に適応するために

## 自宅では

- ・夏季にはグリーンカーテンを導入します。
- ・夏季にはエアコンを適正に利用し、水分補給を適宜行うことで、熱中症に気を付けます。

## 基本目標5 ひとづくり

## ■環境教育・学習と情報提供を進めるために

## 自宅では

- ・市の資料に掲載されている、環境に関する情報に目を通します。  
例えば・・・広報へきなん、油ヶ淵電子図書館、環境の状況に関する報告書(ホームページ掲載)などがあります。
- ・テレビや新聞、雑誌などで報道される、環境に関する情報に関心を持ちます。

## みんなと協力して

- ・趣味のつながりなど、情報交換できる人脈を広げます。
- ・地域で行われている清掃活動などの環境保全の活動に参加し、様々な立場の人との交流から、様々な情報を得るとともに発信します。  
例えば・・・クリンピー、油ヶ淵浄化デー、環境宣言に参加しましょう。
- ・環境問題に関する講座やシンポジウムなどに参加します。  
例えば・・・へきなん市民環境会議や碧南海浜水族館等が開催する講座に参加しましょう。
- ・環境に対する考え方を共有する仲間づくりを行い、実際の環境活動へ繋げていきます。  
例えば・・・へきなん市民環境会議、フッチーほたるの会、女性団体連絡協議会などに参加しましょう。

## ■協働による環境保全活動を進めるために

### 自宅では

- ・他市の環境に関する良いところを見つけたら、取り入れます。
- ・市の広報などの情報に基づき、環境に配慮した行動、商品・サービスの選択などに取り組みます。
- ・製品に示された様々なマークについて意味を調べ、環境に配慮した製品に対する理解を深めます。



### みんなと協力して

- ・地域の仲間と環境を良くする取組を始めます。  
例えば・・・へきなん市民環境会議、生活学校、消費生活保護協会への参加、地域の資源回収当番への協力などがあります。
- ・環境配慮に関する行動や情報を、周囲に発信し、共有します。
- ・様々な活動をしている団体を支援します。
- ・地域の環境を良くする活動に参加します。
- ・工場見学や事業所の地域交流のイベントなどに参加し、事業者の環境配慮行動を教えてください。



### 3 事業者の事業活動等における取組

#### 基本目標1 自然環境の保全(碧南市生物多様性地域戦略)

##### 水辺環境の保全と創造のために

- ・水辺の清掃活動に参加します。

##### 緑地の保全と創造のために

- ・敷地内の緑化に努めます。
- ・開発行為や土木工事を行う際は、自然環境や景観等が維持されるよう、周辺環境への配慮に努めます。

##### 外来種を増やさないために

- ・事業所敷地内の池や緑地に繁殖した外来生物について適正な方法により駆除を行うとともに、外来生物の適正な知識の習得に努めます。

#### 基本目標2 まちづくり

##### 公害を防止するために

- ・法令を遵守し、周辺環境に配慮した事業活動に努めます。
- ・設備類の維持管理を徹底するとともに、排出する排気ガス、排水、騒音等を定期的に測定します。
- ・植栽には農薬・肥料等を適正に使用します。
- ・小売店や生産者等は、環境に配慮した製品の取り扱いに努めます。

##### 美しい景観を守る・つくるために

- ・開発行為や土木工事を行う際は、自然環境や景観等が維持されるよう、周辺環境への配慮に努めます。
- ・街中に掲出する看板等の広告については、周辺の景色との調和を図り、景観に配慮したデザイン、無許可での掲出のないよう努めます。

### 基本目標3 循環

#### 資源循環(3R)を基調とする環境負荷の小さな循環型の社会づくりのために

- ・自社から発生する廃棄物は資源を分別し、リサイクルを徹底します。
- ・詰替えや付替えなど、ごみになりにくい製品や、長く使える製品、再生品を可能な限り調達します。
- ・使用後に廃棄物の排出量の少ない製品の取り扱いをします。
- ・製造事業者は、使用後にごみになりにくい製品を開発します。
- ・事業活動に伴い生じた廃棄物は、自らの責任で適切に処理します。
- ・市民の資源回収に協力します。
- ・事業所内でのペーパーレスや古紙利用を推進します。

#### 水の循環を守るために

- ・節水、水の循環利用等、水資源の節約をします。

### 基本目標4 地球温暖化対策(碧南市地球温暖化対策実行計画(区域施策編))

#### 再生可能エネルギーの導入を進めるために

- ・太陽光発電や風力発電など、再生可能エネルギー設備等を導入します。

#### 省エネルギーを進めるために

- ・不要な照明を消したり間引きする節電など省エネルギーに取り組みます。
- ・新規購入や買い換える際は高効率機器を導入します。
- ・ペアガラスや断熱性外壁などの省エネリフォームを導入します。

#### 環境負荷の少ないまちをつくるために

- ・物流の効率化等により、自動車交通量を減らします。
- ・グリーン物流を進めます。
- ・新規購入や買い換える際は、次世代自動車など燃費の良い自動車を導入します。
- ・エコドライブに心がけます。



**温暖化に適応するために**

- ・夏季の屋外作業などで熱中症予防に取り組みます。
- ・クールシェア・ウォームシェアスポットに協力します。
- ・災害時の被害を最小限とするよう、平常時から事業継続計画（BCP）を策定します。
- ・災害時には地域の復旧活動への支援に努めます。

**基本目標5 ひとつくり****環境教育・学習と情報提供を進めるために**

- ・従業員等の環境意識を高めるよう努めます。

**協働による環境保全活動を進めるために**

- ・市民・NPO・ボランティア等の環境保全活動の支援や協力を努めます。
- ・地域の美化活動やボランティア活動などに参加します。
- ・ホームページ等に自社の環境への取組などの情報を掲載します。